

平成28年度学校評価について

1 PDFの学校評価について

- ・ 自己評価は、平成28年度の取組等について、教職員が自己評価したものである。
- ・ 生徒評価は、平成28年度の取組等について、生徒が評価したものである。
- ・ 保護者評価は、平成28年度の取組等について、保護者(P T A役員・理事)が評価したものである。

2 学校関係者評価委員会委員の声

- ・ 修学旅行中のブログは、更新も多く、子供たちの生き生きとした臨場感を感じるものであった。これは、日頃からのシステム作りなしにはできないことであり、普段の学校の取り組みに感謝したい。
- ・ 交通安全に関する職員研修として、非常によい取り組みがなされている。保護者への紹介も検討したらどうか。
- ・ 学校説明会について、夜の実施から昼の実施に変更は大変よかった。生徒の授業風景も見学でき、アクティブラーニングなど生き生きと授業を受けている生徒の様子をみて、子供たちも加治木高校に抱いている堅いイメージも変化したようだ。
- ・ 創立120周年への取り組みについて、簡単なものでもいいから、生徒たちに何か企画させられないか。それが成長につながると思う。
- ・ 加治木高校が誇れることとして、あいさつ・掃除が挙げられるが、現状はどうなっているか。花壇に掃除道具などが放置されてるところが見られる。
- ・ 試験期間中だけでも、1・2年生の自習室の確保ができないか。保護者・生徒の要請がある。自宅学習ができる能力を身につけることも大事ではあるが検討してほしい。
- ・ ストレスマネジメントは子供たちにとって、非常に役立っている。呼吸法など、卒業生も高校時代に学んだことを生かしている。社会に出ても必要な能力であり、今後も続けてほしい。
- ・ J Rなどの公共交通利用時のマナーについて、乗り降り時など周囲への配慮に欠けている部分もあると感じる。ご指導をお願いしたい。
- ・ 他校生が駅周辺のボランティア清掃に取り組んでいるが、加治木高校も積極的に取り組むべきである。
- ・ 英語教育改善プランの取り組みが、英検合格者の増加として現れているのは、いいことである。
- ・ 学校内での挨拶など、機会を捉えて指導することが道徳性の向上につながる。人間性が細くなってきた感がある。是非、人間美学を磨いて欲しい。
- ・ 始良市の成人式で、女性の代表挨拶が卒業生であった。非常にすがすがしい発表であった。これまでに素晴らしい出会いがあったとのことであり、その大きなウェイトを加治木高校の3年間で占めているのだと感じた。